

渡辺復興大臣福島県訪問ぶら下がり記者会見録
(令和元年7月17日(水) 11:45~11:48 於)いわき市)

1. 発言要旨

本日は、福島県水産海洋研究センター完成記念式典に出席し、その後、このたび新たに整備された放射能研究棟と飼育実験棟を視察しました。研究棟や実験棟では、放射線モニタリングや魚介類の放射性物質の移行解明に関する設備や実験の様子を視察したところでございます。

最新の研究設備を有するこのセンターが、これからの福島県県産水産物の安全性の確保や、風評払拭のための情報発信等の機能を大いに発揮することを期待しております。

復興庁といたしましても、来年の東京オリンピック・パラリンピックの機会を活用して、風評の払拭に全力で取り組み、被災地の水産業の復興に向けて引き続き全力で取り組んでまいります。

2. 質疑応答

(問) 東京オリンピック・パラリンピックまで間もなく1年ですけれども、その場での福島の水産業の風評払拭に言及がありましたけれども、どのように進めていきたいというふうに、国としてお考えでしょうか。

(答) 実は私どもは、復興五輪という一つの大きな目標もございます。したがって、この風評払拭については、在京各国大使館に、直接、私、そして副大臣、政務官が出向き、福島産の農産品、または水産品は、市場に出ているものは安全でありますよということをアピールしておりますし、ぜひとも被災地にお越しいただきたい、こういったPR活動をしているところでございます。

また、先般はロンドンに参りまして、ロンドンには、ジャパン・ハウスという、日本の施設がございます。その施設において復興庁主催の行事に参加し、その際、復興しつつある被災地の状況について、現状や風評払拭に関する情報についてお示しをしたところでございます。このような形で、全力で風評払拭に取り組んでいるところでございます。

(以 上)